

## 広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

## ■コメント

## 1 インフルエンザ

定点当たり40.03人の報告があり、警報レベル(定点当たり30.0人)を上回りました。11月に入って急速に増加しており注意が必要です。インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は44件報告されています。手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)

第47週 A型:316人、B型:1人

## 2 マイコプラズマ肺炎

定点当たり3.33人の報告があり、多い状況が続いています。手洗いの励行、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

## 3 流行性角結膜炎

定点当たり2.13人の報告があり、多い状況が続いています。アデノウイルスを原因とする急性の結膜炎で、感染力が強く、小児から大人まで幅広い年齢層で見られます。手洗いの励行、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

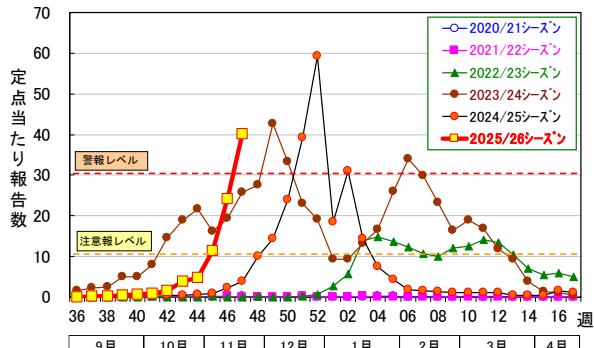
## 4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり2.95人の報告があり、多い状況です。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

## ■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平過去5注年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平過去5注年間	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	3213	91.80	/	↗	小児科	突発性発しん	2	0.09	0.19	
	インフルエンザ	1401	40.03	5.92	↑		ヘルパンギーナ	-	-	0.21	
	新型コロナ(COVID-19)	22	0.63	/	↗		流行性耳下腺炎	1	0.05	0.03	
小児科	RSウイルス感染症	16	0.73	0.05	↗	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	10	0.45	1.06			流行性角結膜炎	17	2.13	0.63	↗
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	65	2.95	1.40	↗		細菌性瞼膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	105	4.77	3.68	↗		無菌性瞼膜炎	-	-	0.03	
	水痘	7	0.32	0.16		基幹	マイコプラズマ肺炎	20	3.33	1.57	↗
	手足口病	3	0.14	0.94			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	14	0.64	0.02			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

## インフルエンザの流行状況(広島市)



## ■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		急性呼吸器感染症 (A型フルエンザ) インフルエンザ (C O V I D - 1 9)	新型コロナ ウイルス 感染症	R Sウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性結膜炎	無菌性結膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (ロタウイルス)	感染性胃腸炎		
報告数	広島市	第43週	2,070	133	53	29	4	58	74	7	13	16	2	3	3	-	22	-	1	29	-	
		第44週	2,654	162	44	39	8	78	84	1	14	22	3	4	1	-	13	-	1	24	-	
		第45週	2,688	393	38	17	4	75	73	5	7	12	8	-	2	-	25	-	-	34	-	
		第46週	2,971	844	23	11	7	86	98	4	6	6	3	-	-	-	17	-	-	17	-	
		第47週	3,213	1,401	22	16	10	65	105	7	3	14	2	-	1	-	17	-	-	20	-	
定点当たり	広島市	第43週	59.14	3.80	1.51	1.32	0.18	2.64	3.36	0.32	0.59	0.73	0.09	0.14	0.14	-	2.75	-	0.17	4.83	-	
		第44週	75.83	4.63	1.26	1.77	0.36	3.55	3.82	0.05	0.64	1.00	0.14	0.18	0.05	-	1.63	-	0.17	4.00	-	
		第45週	76.80	11.23	1.09	0.77	0.18	3.41	3.32	0.23	0.32	0.55	0.36	-	0.09	-	3.13	-	-	5.67	-	
		第46週	84.89	24.11	0.66	0.50	0.32	3.91	4.45	0.18	0.27	0.27	0.14	-	-	-	2.13	-	-	2.83	-	
		第47週	91.80	40.03	0.63	0.73	0.45	2.95	4.77	0.32	0.14	0.64	0.09	-	0.05	-	2.13	-	-	3.33	-	
全国		第45週	78.42	21.82	1.95	0.88	0.23	1.97	3.40	0.23	0.14	0.66	0.22	0.09	0.03	0.01	0.70	0.01	0.03	1.42	0.01	0.01
		第46週	94.77	37.73	1.91	0.77	0.28	2.46	3.98	0.29	0.13	0.65	0.22	0.07	0.04	0.01	0.72	0.01	0.03	1.48	0.01	0.01

## ■病原体検出状況(ARIサーベイランス)

感染症発生動向調査に基づくARI病原体定点医療機関からの搬入分のみ掲載

検体採取週	検査検体数	陽性検体数*	A(H1N1)2009型インフルエンザウイルス	A(H3)型インフルエンザウイルス	(ビクトリア系統)B型インフルエンザウイルス	(山形系統)B型インフルエンザウイルス	(SARS-CoV-2)新型コロナウイルス	A型RSウイルス	B型RSウイルス	ヒトメタニユーモウイルス	パライソウイルス1型	パライソウイルス2型	パライソウイルス3型	パライソウイルス4型	エンテロウイルス	ライノウイルス	アデノウイルス
第42週	12	9	2				1	1		2	1				3	1	
第43週	15	10		4			1		1		1				3	2	
第44週	19	13		3			1				1				8	1	
第45週	18	11		4			1				1				6		
第46週	15	9		2				2	1		1				3	1	

\* 同一検体からの複数ウイルス検出例を含む（検査：広島市衛生研究所）

詳しくはホームページで [広島市 病原体](#) 検索

## 12月1日は世界エイズデーです。この機会に検査を受けてみませんか？

毎年12月1日を中心に、世界各国でエイズに関する啓発活動が行われています。令和7年度のキャンペーンテーマは「U=U 検出されない=性感染しない」です。

治療法が進歩したこと、HIV陽性者は感染の早期把握、治療の早期開始・継続によりエイズの発症を防ぐことができ、HIVに感染していない人と同等の生活を送ることが期待できるようになりました。また、近年では、HIV治療を受け、血液中のウイルス量が検査で検出できない程度に最低6ヶ月以上継続的に抑えられているHIV陽性者からは、性行為によってHIVが感染することがないことも確認されています。このことは、Undetectable (検出限界値未満) = Untransmittable (HIV感染しない)、略して「U=U」と呼ばれています。

世界エイズデー(12月1日)(エイズ予防情報ネット) <https://api-net.jfap.or.jp/edification/aids/special2025.html>



### HIV(エイズ)・梅毒の臨時検査・普及啓発イベント

日時：12月6日(土)14:00～17:00

(検査受付 14:00～16:30、予約不要)

場所：アリスガーデン周辺

(検査会場 あおぞら健診・内科クリニック  
中区三川町1-20ピンクリボン39ビル)

詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/medical/1021213/1043764.html>

### HIV/エイズの無料・匿名検査(要予約)

場所：各区保健センター

通常検査に加えて臨時検査を実施します。

詳しくはホームページをご覧ください。

HIV/エイズの無料・匿名検査(Web予約可能)(広島市)  
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/medical/1021213/1022693.html>



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html>



### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp